

科目名	児童文学			担当教員	久田 義純	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	
期待される学修成果						
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験	教諭					
実務経験を生かした授業内容	文学作品の教材研究の方法と学校現場での活用について扱う。					
到達目標及びテーマ	主に、小学校国語教科書に掲載されている児童文学作品を読み、作品を構造的に捉え、文学作品の読み深め方や分析する力を身に付けることができる。					
授業の概要	主に小学校国語教科書に掲載されている児童文学作品を読み、それぞれの作品の内容や表現、「語り」の特質等から幅広く考え、文学作品を読むための観点についての理解を深めるとともに、テキストに対する自身の読みを深めていく。 【デジタル技術利用 該当番号：④】					

授業計画	
第1回	オリエンテーション（授業の流れ・物語とは・物語を読むという行為）
第2回	レオ・レオニ「スイミー」
第3回	アーノルド・ローベル「お手紙」
第4回	あまんきみこ「おにたのぼうし」
第5回	斎藤隆介「モチモチの木」
第6回	村中李衣「走れ」
第7回	今西祐行「一つの花」
第8回	新美南吉「ごんぎつね」
第9回	椋鳩十「大造じいさんとガン」
第10回	宮沢賢治「注文の多い料理店」
第11回	宮沢賢治「やまなし」
第12回	立松和平「海の命」
第13回	ヘルマン・ヘッセ「少年の日の思い出」
第14回	向田邦子「字のない葉書」
第15回	まとめ

事前学修	2時間	(2-14)：次時に扱う作品を読んでおく。
事後学修	2時間	(2-14)：扱った文学作品の読みについて、自分なりにまとめる。先行研究についてさらに調べる。同作者の他の作品を読む。
フィードバックの方法	授業中に学生の発言に対してコメントする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
レポート	50%	本文をもとに自分の言葉で作品論をまとめている。
上記以外の試験・平常点評価	50%	リフレクションシートにおいて、授業の振り返りを論理的に記述している。
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	・ 小学校学習指導要領解説 国語編（文部科学省） ・ 中学校学習指導要領解説 国語編（文部科学省） ・ 丹藤博文『文学教育の転回』教育出版（2014） ・ 丹藤博文『ナラティブ・リテラシー ―読書行為としての語り―』溪水社（2018） ・ 丹藤博文『文学教育における読書行為の研究』ひつじ書房（2024）			